



上野原縄文の森開園10周年記念特別企画展

# 縄文人の匠の技

～土器・土偶・耳飾りからのメッセージ～

平成24年10月6日<sup>土</sup>▶12月2日<sup>日</sup>



(公財) 鹿児島県文化振興財団

鹿児島県上野原縄文の森



# 縄文人の匠の技

縄文時代後期～晩期のムラ

かやの  
榛東村茅野遺跡 復元ジオラマ  
群馬県榛東村耳飾り館（常設展示室）

上野原縄文の森開園10周年記念特別企画展

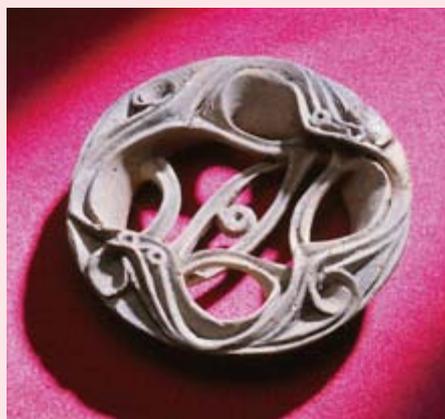
2

茅野遺跡



どせいみみかざ  
**土製耳飾り**  
(縄文時代後期～晩期)

群馬県榛東村茅野遺跡出土  
国指定重要文化財 榛東村耳飾り館蔵



## 茅野遺跡 / Kayano Site

茅野遺跡は、縄文時代後期から晩期にかけて営まれた大規模な集落跡で、中央の水場を取り囲むように住居跡、墓などが置かれています。

また、土器、石器などをはじめとして、耳飾り、岩版なども大量に出土しました。



### ◆茅野遺跡の耳飾り

耳飾りは全体で577点が出土していますが、完全な形で出土した200点はすべてが単品で、対になるものはありません。大きさは直径10cm、重さ100gほどのものから、直径1cm、重さ1～2gほどのものまでさまざまです。文様も複雑なものと同様に単純なものがあり、表面には赤や黒の彩色を施しているものもあります。

## ◆茅野遺跡 土器

土器は縄文時代後期，晩期を中心に多数出土していますが，深鉢をはじめ，注ぎ口のある注口土器や壺や浅鉢などの豊富な器形が知られています。また，石斧や，矢じり（石鏃）のほか，石棒や石剣などの各種の石器も大量に発見されています。



ちゅうこう  
■ 注口土器（縄文時代後期）  
群馬県榛東村茅野遺跡出土  
国指定重要文化財 榛東村耳飾り館蔵



■ 土偶（縄文時代後・晩期）  
群馬県榛東村茅野遺跡出土  
国指定重要文化財 榛東村耳飾り館蔵



■ 手燭形土製品  
燃えくずが残っているものが発見されたことから，なんらかのマツリのランプとして用いられた。



がんばん  
■ 岩版（縄文時代後・晩期）  
群馬県榛東村茅野遺跡出土  
国指定重要文化財 群馬県榛東村耳飾り館蔵



がんばん  
■ 岩版（縄文時代後・晩期）  
群馬県榛東村茅野遺跡出土  
国指定重要文化財 群馬県榛東村耳飾り館蔵

不思議な文様が刻まれた岩版は，茅野遺跡から200点以上出土しています。石材は白い凝灰岩で，未完成のものや手つかずの原石も多数認められます。

岩版は，東北地方北部の亀ヶ岡文化圏において，祭祀的遺物の代表格の一つとされ，関東地方にまで伝えられました。

# 土偶に込められた思い

土偶は土で作られた人形で、女性、特に妊婦を表現したものがほとんどです。顔や手足、胴部などをそれぞれ作ってから人の形に仕上げ、さらに体の一部が壊された状態で発見されるものも多く見つかっています。病气やけがから身を守ったり、安産を祈願したりするなど、家族や仲間への思いが込められているのでしょう。



## ■ バンザイ土偶 (ヤッホー) (縄文時代中期)

山梨県笛吹市桂野遺跡出土  
笛吹市教育委員会蔵

この土偶は、住居の中から二つに折られた状態で発見されました。デフォルメされた姿ですが、愛らしい顔を持ち、両手を広げて立つ姿で自立する事が出来ます。



## ■ カッパ型土偶 (みさかっぱ) (縄文時代中期)

山梨県笛吹市桂野遺跡出土  
笛吹市教育委員会蔵

ふくよかなおなか、大きなお尻、親しみのある顔を持つ土偶です。この土偶は、腰の部分で二つに折られた状態で見つかりました。妊娠した女性を表したものです。



## ■ 土偶把手 (縄文時代中期)

山梨県笛吹市桂野遺跡出土  
笛吹市教育委員会蔵

土器の把手の装飾部分です。中央には妊娠線やおなかにあてた手が表現されています。頭部は見つかっていません。



## ■ 仮面土偶 (レプリカ) (縄文時代後期)

山梨県韮崎市後田遺跡出土  
韮崎市教育委員会蔵

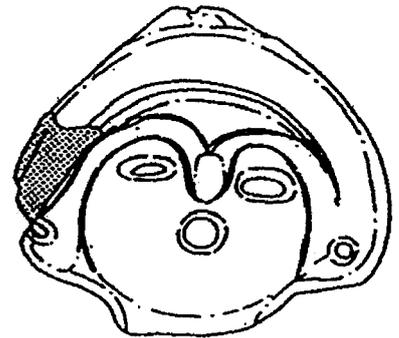
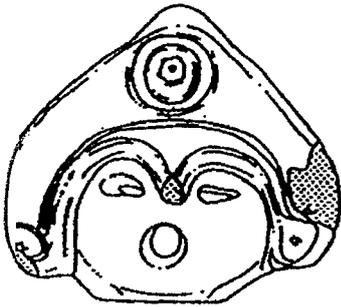
胴体と両脚の部分が空洞になっており、お腹が突きだしたどっしりとした体型の土偶です。子どもを宿した女性を表現したものと考えられます。頭部につけた仮面が特徴です。

## 积迦堂遺跡 / Syakado Site

积迦堂遺跡は、縄文時代早期末から中期後半の大規模集落遺跡で、255軒の住居跡や1,116点の土偶などが出土しました。

幾何学模様や動物、人の姿などを表した土器、表情豊かな土偶など5,599点が国の重要文化財に指定されています。

### ◆积迦堂遺跡 土偶



掌の中に収まる程度の大きさを普通として、全体の形態や、顔や手足の表現にバラエティーがあります。

多くの場合土偶は五体ばらばらで、故意にこわされた状態で出土しており、くつつくものはほとんどありません。

土偶は、縄文時代につくられた「ひとがた」を表した土の人形で妊娠した女性を表現したものがほとんどです。その顔部分だけみると、いろいろな表情がよみとれます。

积迦堂遺跡では、土偶が1,116個も発見されています。

#### ■ 土偶 (縄文時代中期)

山梨県积迦堂遺跡出土

国指定重要文化財 积迦堂遺跡博物館蔵



■ 壺を抱えた土偶

山梨県釈迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 釈迦堂遺跡博物館蔵



■ 出産土偶

山梨県釈迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 釈迦堂遺跡博物館蔵

出産する女性の座った姿を表現したものと考えられています。両足の間には新生児の頭部とみられる表現もあります。



■ 注口土器 (縄文時代後期)

山梨県釈迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 釈迦堂遺跡博物館蔵

注ぎ口のついた土器。釈迦堂遺跡では残りのよい土器は、この1点のみです。



■ 土偶

山梨県釈迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 釈迦堂遺跡博物館蔵

遺跡内の別々の集落（住居跡群）の土器捨て場から見つかった2つの土偶（右足と左足）がくっついていて、2つの土偶の出土距離は230mです。離れて見つかったものが同じ土偶のかげらだったことがわかります。

これは、いくつもの集落の人が集まって、土偶を割り持ち帰ったと考えられます。



■ 釣手土器 (縄文時代中期)

山梨県釈迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 釈迦堂遺跡博物館蔵

脇にあいている穴にひもをとおしてつるしたようです。

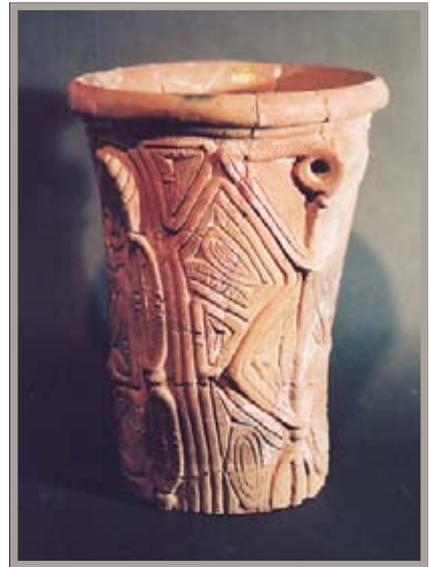
# 土器からのメッセージ



■ **人体文土器** (縄文時代中期)  
山梨県积迎堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迎堂遺跡博物館蔵  
正面を向いた人が両手をあげ、足を開いているような表現があります。



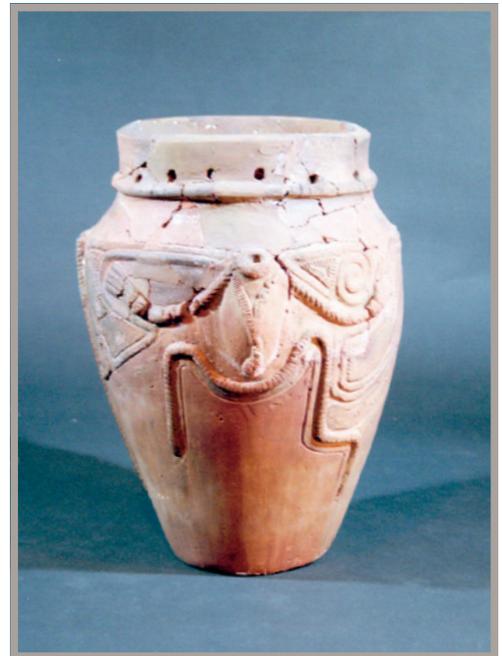
■ **人体文土器** (縄文時代中期)  
山梨県积迎堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迎堂遺跡博物館蔵  
へびのような模様がみとれます。



■ **人体文土器** (縄文時代中期)  
山梨県积迎堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迎堂遺跡博物館蔵  
指先をしてみると、4本指のものもあり、人体でなく他の生物という説もあります。



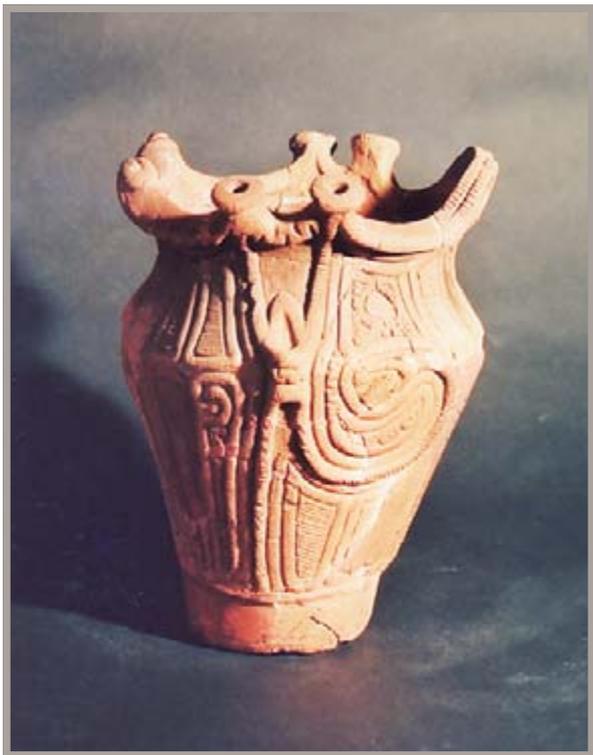
◆ **深鉢形土器 (口縁部のみ)**  
(縄文時代中期)  
山梨県积迎堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迎堂遺跡博物館蔵



◆ **有孔罎付土器 (カエル文)**  
山梨県积迎堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迎堂遺跡博物館蔵  
有孔罎付土器とは、ふちに穴があいており、穴の下にはつば(でっぱり)があります。  
カエルの様な文様の描かれた土器です。

积迦堂遺跡の人々は、力強い曲線や渦巻き、突起などを組み合わせた文様で、人の体や身のまわりの動植物などのほか、風や煙などの自然現象とも思われる表現を生み出しました。

じっくりと見つめると、豊かな自然の中でたくましく生き抜いた縄文人のエネルギーを感じます。



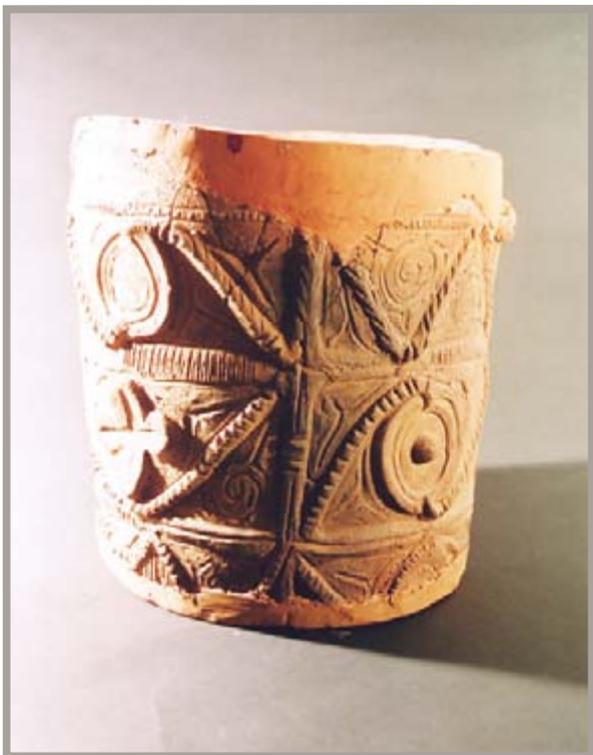
**深鉢形土器**

山梨県积迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迦堂遺跡博物館蔵



**深鉢形土器**

山梨県积迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迦堂遺跡博物館蔵



**深鉢形土器**

山梨県积迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迦堂遺跡博物館蔵



**深鉢形土器（水煙土器）（縄文時代中期）**

山梨県积迦堂遺跡出土  
国指定重要文化財 积迦堂遺跡博物館蔵

# 縄文文化のさきがけ～南九州・鹿児島



■ 耳栓状土製品 (縄文時代早期)  
鹿児島県三角山遺跡出土 (中種子町)  
県立埋蔵文化財センター蔵



■ 耳栓状土製品 (縄文時代早期)  
鹿児島県出水遺跡出土 (曾於市)  
県立埋蔵文化財センター蔵



■ 耳栓状土製品 (縄文時代早期)  
鹿児島県堂園平遺跡出土 (日置市)  
県立埋蔵文化財センター蔵



■ 耳栓状土製品 (縄文時代早期)  
鹿児島県城ヶ尾遺跡出土 (霧島市)  
県立埋蔵文化財センター蔵



■ 壺形土器 (縄文時代早期)  
鹿児島県城ヶ尾遺跡出土 (霧島市)  
県立埋蔵文化財センター蔵



■ 耳栓状土製品, 壺 (縄文時代早期)  
鹿児島県鳴野原遺跡出土 (南九州市)  
県立埋蔵文化財センター蔵



■ 土偶 (縄文時代早期)  
鹿児島県上野原遺跡出土 (霧島市)  
国指定重要文化財 県立埋蔵文化財センター蔵

※レプリカ展示, 実物は常設展示



■ 双子壺出土状況 (縄文時代早期)  
鹿児島県上野原遺跡 (霧島市)  
国指定重要文化財 県立埋蔵文化財センター蔵

※実物は常設展示

※集合写真中の●は、今回展示資料

## 上野原遺跡 / Uenohara Site

上野原遺跡では、縄文時代早期にあたる9,500年前の定住化集落のほか、7,500年前の土偶や耳飾り、2つの埋設壺型土器などが出土しました。

時代の幕開けともいえるこの時期に、すでに高い技術と豊かな精神文化を持っていたことがうかがえます。



### 土製、石製耳飾り（縄文時代早期）

鹿児島県上野原遺跡出土（霧島市）

国指定重要文化財 県立埋蔵文化財センター蔵

※集合写真中の●は、今回展示資料、一部レプリカ展示

長く続いた氷河期が終わりに近づいた1万数千年前、南九州では徐々に木の実が採れる森が広がり、シカやイノシシなどの小型の動物が増えてきました。こうした環境の変化により、鹿児島では全国に先駆けて人々が定住を始めた痕跡が数多く発見されています。

その中でも、ここ上野原では7,500年前の人々の暮らしぶりや考え方に迫るさまざまな資料が出土し、767点が国の重要文化財に指定されました。

土偶は九州最古のもので、頭と両腕を三角形の突起で表し、胸には乳房も表現しています。耳飾り<sup>\*</sup>は、現在県内で13遺跡38点の資料が確認されています。弥生時代のもと考えられていた壺形土器がこの時期に使われていたことも驚くべきことで、県内各地で発見されています。これらの資料は東日本の例よりも数千年古いものです。鹿児島の縄文人が温暖な気候と豊かな森に育まれて、自然に学び、知恵と技術を身につけ、心豊かに生きた証です。

※ 耳飾りは、現代の民族例にも見られるように、耳たぶに装着したと考えられています。東日本の遺跡ではかなり小さなものから段階的に大きくしていったことを示す資料がたくさん見つかっています。これに対して鹿児島のものは上野原遺跡で19点、城ヶ尾遺跡で3点などのほかはほとんどが1点のみ見つかっています。これらのことから、耳たぶに装着していない可能性も指摘されています。今回の展示では、各調査報告書に従い、「耳栓状土製品」と表記しているものもあります。



1万年も続いた縄文時代。気候の変化、地震や火山活動など自然の戦い・共存の中で、森や川、海などから得られる豊かな恵みに育まれながら、たくましく生き抜いていたようです。

そのことは、縄文人が残した数多くの土器・

土偶・耳飾りなどの土製品にもよく表現されています。

ひとつひとつの「作品」をじっくりと味わいながら、遙か数千年前のふるさとの姿を思い描いてみましょう。



上野原縄文の森開園10周年記念特別企画展

# 縄文人の匠の技

～土器・土偶・耳飾りからのメッセージ～

特展データファイル **10<sup>th</sup>** anniversary

2012.10.6～2012.12.2

■ お問い合わせ

鹿児島県上野原縄文の森

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号

TEL 0995-48-5701

FAX 0995-48-5704

ホームページ <http://www.jomon-no-mori.jp/>

メールアドレス [uenohara@jomon-no-mori.jp](mailto:uenohara@jomon-no-mori.jp)